

第2回コリンズ・テクリス特別委員会 議事概要

日 時 : 平成 22 年 12 月 20 日 (月)
15 : 30~17 : 00
場 所 : 都市センターホテル
6 階 603 会議室
出席者 : 配付資料 (出席者一覧) の通り

1. 開会

2. 主催者挨拶

財団法人 日本建設情報総合センター 理事長 門松 武

3. 座長挨拶

名古屋工業大学大学院 山本幸司 教授

4. 議事

(1)利用者アンケートの結果

JACIC より説明 : 資料 2-1、参考資料 2-2、2-3

(2)コリンズ・テクリス事業改善方針 (案)

JACIC より説明 : 資料 2-1

(3)コリンズ・テクリス利用料金の見直し (案)

JACIC より説明 : 資料 2-2、参考資料 2-4

(4)利用者会議の結果

JACIC より説明 : 資料 2-2、参考資料 2-4

(5)審議

別紙の通り

(6)その他

JACIC より説明

5. 閉会

(別紙) 審議の概要

○ 座長

事務局から説明のあった事業改善方針案と料金の見直しの案についてご意見を
願います。

○ 委員

利用者会議において、コリンズ・テクリス単体で見ればもっと下げられるという
意見があったが、コリンズ・テクリスは建設事業の情報化の一部であり、単体だけ
を取り上げて成り立たせるのは必ずしも合理的なものではない。コリンズ・テク
リスの収入を充てている積算、入札情報サービス、調査研究、電子入札等は、一
体として連携して動く必要があり、全体で収支が取れているということを積極的
に訴えてはどうか。

○ JACIC

JACIC は公共調達の一連のシステムを全体として継続的に提供することによっ
て、「公共調達の効率化に寄与する」ための活動をしてきている。将来的にはそ
れらを一体化して、総合的なサービス提供していくという考えはあるが、現在は
それぞれ負担者が違うという実態がある。このため、ひとつひとつのシステムに
ついて適正な収支構造を持つことを志向しながら全体が継続的に事業運営できる
ようにするというルールをどのように設定するのか、たとえば共通管理費は8%、
コリンズ・テクリス以外の事業についても16%の経費節減目標を設定し自立を
図る等により1.7億円の料金見直し財源を確保している。そういう中で利用者
のご理解をいただけないかと考えている。

○ 委員

ルールが必要なのは理解できるが、全体として本来ちゃんと動くものとなっ
ているのか、そこの理解が得られないと、個別の事業で見たら必ずまだ黒字だ、と
いう議論になる。

○ JACIC

そこのところの表現が不十分なので、改善方針にキッチリ書いていきたい。

○ 座長

今回の見直しにあたって、独立採算的な努力は必要であろうけど、まだそこま
で至っていない。あるいは景気の動向によっては、一時赤字になったり、変動が
ありうる。だから、現時点としては全体での収支を考えざるをえない。しかしそ
れぞれの個別については削減の努力をする。今日の資料でも、そこの表現は薄い
という感じは確かにするので、最終的に改善方針を取りまとめるときは、そこを
工夫していただくことにしたい。

○ 委員

JACIC は、独自に企業の技術者に ID を振っており、その ID を徹底的に活用し、

入札情報の提供環境とか、電子入札だとか、トータルに全部つなげるとすごく便利になる。本来はワンストップを志向すべきだと思うが、民間企業ではないのでだれが費用の負担と便益を受けるかということもある。

○ 委員

このシステムの事業収入であるが、システムの単なるオペレーションだけでなく、時代の要請にしたがって整備していく、場合によっては手を加えていく、こういう費用も、内部補填ではなく事業そのものの運営費用の一部であると思うが、利用者の人には十分に認めていただかないといけない。

いただいた費用はオペレーションだけでバランスしてそれでOKということになると、システムは時代的な命を持たない。どこまでいかに改良を進めていくか、結構費用がかかるので、これはアディショナルなフィーだというふうにご利用者にお伝えする必要があると思う。

○ 座長

資料2-2に料金見直しの考え方がまとめられている。それから料金改定の案が3つ示されている。これについて、ご意見はあるか。

○ 委員

資料2-1の18ページの下に業務の改善、評点機能の開発について、23年度を目処に、だれがどうやっていくのか、そこをだれがどう負担していくのか、考えを聞かせたい。

○ JACIC

今のコリンズ・テクリスのシステムは全て登録企業側が記入できるというシステムである。発注者側もその業務なり工事にデータをつける、そういう機能を開発しようというのが基本的な趣旨である。したがって評点だけではなくて、表彰だとか、他の機能もそれがつけられるように、そういう観点からするとこれは検索者の方でご負担いただくものだというのが今の考え方である。

○ 委員

このシステムの個々のプロジェクトが起動するのは、業者が発注者に承認してもらって、登録する。公共事業のプロジェクトというものは起動するのは発注者のほうがいいのか、従来のように業者が発注者の承認印を貰ってやったほうがいいのか。これらの比較の問題は、一度考えたほうが良いと思う。

○ JACIC

もともと発注者が受注者へ登録するよう要請している。それは仕様書に書かれており、登録する経費は登録者で負担するというのが従来の流れである。それ以外に新しい登録システムでは、自社の得意な分野、実績等のPR部分についても、登録者が記入できる部分がある。

それと同じように、検索者のほうも単に検索だけするというだけではなくて、

自らの情報をその業務に紐づけて、ということをしていこうと考えている。それによってコリンズ・テクリスのシステムが登録者からも、検索者からも一つの業務を通して、お互いの情報をお互いのものとして、うまく活用できる。その結果、企業としてはあたかも JACIC のコリンズ・テクリスのシステムが自らの業務と技術者のデータベースになるようなことを含めて、利用者に活用をお願いしている。

○ 委員

そういうシステム開発というか、工夫しようということですね。是非いいものができればいいと思う。

○ 委員

案2、案3の違いだが、この程度で分けるなら全体5%でもいいのかなと、これは特段強い意見ではないので、参考にさせていただければと思う。

○ JACIC

登録料金について、中規模を設けたのは、全体としてアンケートにもあったとおり、小規模をちょっとこえるようなところの値下げ要望が強かったので、できたらこちらに配慮してあげたい。しかし全体の財源が限られているため、この程度の額になったというところがある。

テクリスで例えば年間登録数が100件程度、30件程度、10件程度、5件程度と具体にある企業を当てはめてやってみた。そうすると、案1は7%一律に、案2は94%、93%とこういう風な感じになるが、案3になると、テクリスは中規模のシェアが大きいものだから、大きな企業さんでもだいたい93%、小さなところで92%ぐらいとかなり大きな値下げになる。別途表を配布しているが、コリンズで言うと、案1では93%で一律だが、案3で言うと、98.7%、94.9%、92.3%、90.6%というようなところだ。いろんな声を聞きながら案を作った。

○ 座長

利用者からはいろいろなご意見があった。利用者会議の意見をまとめて説明をお願いします。

○ JACIC

資料2-3、は利用者会議での意見、および全ての出席者の意見を聞けなかったのでご意見伺票の当日提出いただいたものを記載している。料金以外については直接提供を継続して欲しいなど何点かのご意見をいただいている。

○ 座長

利用者会議に出席していただいた委員から、特に追加で何かあればコメントをお願いします。

○ 委員

業界団体からコリンズ・テクリスだけの収支を考えれば、下げてくれるのはあり

がたくて、またちょっと収益が改善したら下げてくださいというぐらいの感じだった。

○ 座長

「座長のとりまとめコメント」というのが一番下にある。これは JACIC の代弁をしたわけではなく、1 回目、それからワーキングの議論を通じて、個人的に感じていたことをとりまとめということで発言させていただいた。

今日の我々の議論にもかかるので、JACIC としての事業の安定的継続が前提になる。そのためにも、研究開発費を含めて将来の収支は少なくとも5年くらいはちゃんと見通しを立てた上で、料金を見直す。それから、あまり料金の値下げをしすぎて、JACIC の他の事業にしわよせが生じないように。費用の削減目標を立て、料金見直し財源1.7億円の確保という試算を基に、料金見直しの案を作っただいた。先ほど触れたけど、一度値下げした料金がまた来年、急に値上げというようなことはならないように5年程度の料金はあまり変動がないようにという前提は必要だということ。

それから登録料金の収入の比率が検索料金よりも大きいということで、登録料金主体の見直しになっている。それに対して反対意見は利用者会議ではなかったかと思う。

我々の委員会は今日で最後だが、コリンズ・テクリス利用者会議は毎年開いていただいて、料金を見直しをするためのご意見を聞いてくれ。ということを発表させていただいた。これは、今日の各委員もご了解していただいているかと思う。利用者会議の報告は以上であるが、この委員会のとりまとめを考えないといけない。特に、委員から、前提条件をもう少し、具体的に記述しては、というご発言をいただいた。

それ以外に何か改めて JACIC 側からの提案についてご意見、ご要望はあるだろうか。

○ 座長

この中ではバランス的に案3と個人的には思うのだが、案1と案2どちらがいい、悪い、というわけでもないかなと思う。委員の先生方はいかがだろうか。

○ 委員

数からいうと、地方公共団体は、案3だ。案3が社会的には受容される気がする。

○ 委員

全く関わっていない立場からだと、一律同じくらいまとめて引かれている方が公平性があるように見える。ただ、中規模のボリュームなり、分布がわからないと、なぜここだけ下げて、ここは下げてないのかと、形式的には見える。

○ JACIC

そういうご意見も一部、伺っているのだが、案1は一律なので、なんのために

アンケート調査をしたのか、利用者会議で意見を聞いたのかというふうになりかねない。利用者会議なり、アンケート調査の結果を踏まえて、バランスだとかの議論があって、案の3に到達している。

○ 委員

背景が分かると、確かに案3がいいのか、単純に並んでいるものを見ると案1だ。

○ 委員

この料金は、何千万の受注で何千円とか何万円とか、個別の会社から見れば大きな金額ではないとすると、大規模についても1%くらいは下がっているというのものもあるかもしれない。0回答というのもちょっと、という話だとすれば。

○ JACIC

特にテクリスでは登録で千件のオーダーを持っている企業がある。そういうところはたとえ9千円でもそれなりの負担となる。それから利用者会議で、料金を下げることによって、改善の要望の部分ができるのかという質問があったが、これに対しては、改善費用を見込んだ上で、1億7千万円を示している。全体としては下げて、しかも改善がされるということであれば、利用者のご理解がいただけるのではないかと考えている。

○ JACIC

アンケートの結果もやはり小規模の部分が負担感が大きかったということもあった。何億、10億円とかの工事でも9、030円だし、ある程度小さな工事でも9、030円。負担感というものも考えたということは付け加えさせていただく。

○ 座長

それでは案3がプライオリティとしてはこの3つの中では上、という結論でよろしいだろうか。

○ 委員

全体の負担感としてみたらやはり3案がよさそうに見える。

○ 委員

総額は1.7億円で一緒ではある。

○ 委員

私どもとしては中小に理解を示していただいたということで、これで結構だ。

○ 座長

今日の結論としては、料金見直しの考え方の前提条件を付け加えていただいて、料金見直しの考え方は了承し、料金改定案1, 2, 3の中では案3が利用者の声を反映できているという中では一番よさそうではないか。ということで結論付けをさせていただきたいと思う。あと、この委員会のまとめとしては、利用者会議

について先ほど話した「座長とりまとめコメント」に書いてある内容、これもご了解いただいたということですのでよろしいでしょうか。（全委員同意）

それでは、5年程度の間には経営環境の変化等があったら、当然ながら料金改定などの見直しが必要とするが、特にそういうことがなければ、5年程度はこの案で進めていただく。個別の事業については、今後、独立採算は不可能にしても、できるだけ自立の努力をしていただく。ということもあった。

今日事業改善方針案に対して了解いただき、料金見直しの案についてもご了解いただいた。その他付帯意見については、今後も毎年の利用者会議に対して報告をしていただくということと、5年以内に経済状況とか、変化することがあれば、またその時は見直しが必要だけど、無いという前提で行けば、5年間はこれですまはがんばっていただくということにさせていただきたいと思う。

今後のスケジュール等について JACIC の意向を確認したい。

○ JACIC

今後の取扱いは、案としてお示ししている事業の改善方針について、今回いただいたご意見をもとに最終案を年内を目処にとりまとめたいと考えている。この最終案については関係機関との調整の上、早期の公表を行っていききたい。

公表に先立って、本来であるなら委員の皆様にご相談をしてということだが、少なくとも山本座長のご了承を得たいと考えている。事務局としては、先ほどとりまとめていただいた方針に従ってとりまとめ、委員会へのご確認は座長へ一任をしていただければありがたいと考えている。なお、料金については地方公共団体の来年度予算との関係もあって早急に決める必要がある。正式には財団の理事会の手続きが必要となるが、それまではこの最終案でお話をしていきたいと考えている。よろしくお願ひしたい。

○ 座長

いかがでしょうか。（全委員同意）

それでは事務局と相談して最終の案を作らせていただく。

○ JACIC

この委員会は、10月に立ち上げ、利用者会議もあわせて長時間で、なおかつ密な開催でした。今日いただいたご意見、特に、JACIC 全体が運営する全てのシステムは公共事業の効率化、品質の向上に役立っており、一体的運用、継続的安定的運用が必至であることを前半できちっと謳いつつ、事業ごとの経費削減の努力をするということを事業の改善方針に書かせていただきます。

平成23年度の公共事業予算も厳しい見込みですが、JACIC としては歯を食いしばって、いただいたご意見に答えていけるように努力したい。料金の見直しについては、3月の理事会を経て平成23年度からきちっと履行していくことをお約束して、お礼にかえさせていただきます。ありがとうございました。

以上